

出原議員（自民議連）

平成 29 年 9 月 22 日
教育長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）「学びの変革」アクション・プランの進捗状況について

「学びの変革」アクション・プランの進捗状況について、現在、どのような課題があり、これを踏まえて今後どう取り組むのか、教育長に伺う。

（答）

県教育委員会では、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成を目指した教育を進めるため、「学びの変革」アクション・プランを策定し、このプランに基づき6つの施策を柱に取組を進めているところであり、概ね順調に展開しているところでございます。

具体的には、

- ・ 「学びの変革」を先導的に実践する学校、
- ・ 多様な学び方と教育内容を提供する「広島みらい創生高校」、
- ・ 備北地区への併設型中高一貫教育校

といった新たな学校の設置を決定したほか、児童生徒の主体的な学びを促す「課題発見・解決学習」につきましては、指定校を中心に、各学校において、組織的な取組が進展しつつあるなど、着実に成果があがっていると認識いたしております。

一方、具体的な事業を推進する中でいくつかの課題が見えてきたところでございます。

まず、「課題発見・解決学習の推進」につきましては、一部の学校におきまして、組織的な授業改善ができていないという状況も見られ、今後、今年度中に優れた事例を集めた事例集を作成し、校内研修等での活用を促すことなどにより教職員の共通理解を深め、組織的な授業改善が進むよう取り組みをしてまいります。

次に、「異文化間協働活動の推進」につきましては、高校段階での留学者数が増加傾向にあるものの、目標の達成には至っていないことから、複数校が合同で短期留学を実施するプランや、より低額な短期留学プログラムを開発するなど、目標達成に向け更なる留学者数の増加に努めているところでございます。

また、「県全体の機運醸成」につきましては、これまで、ホームページや保

護者向けの講演会などにより周知に努めてまいりましたが、今年度実施した教育モニターアンケートでは、「主体的な学び」を推進していることを知っていると回答した者の割合は、50.8%となっており、引き続き、多様な広報媒体を活用するなど更なる機運の醸成を図ってまいりたいと考えております。

教育委員会といたしましては、今後も引き続き、この「学びの変革」を着実に推進することによりまして、広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の実現に向けて全力で取り組んでまいります。